

講演

子どもたちの成長・自立～ 何が必要か

「不登校・ひきこもり」
問題を問い直す

多田 ^{はじめ} 元 氏(弁護士)

主催：KHJ香川県「オリーブの会」

☆ 平成 19 年 3 月 18 日(日) 13:30 ～ 15:00 (受付:13:00～)

☆ 香川県社会福祉総合センター 7階 中会議室 (県庁の斜め向い)
電話:087 - 835 - 3334

☆ **入場料**：1500 円 ・ 「オリーブの会」会員は 1000 円

☆ 講師紹介

1944 年兵庫県生れ。

1969 年から 1988 年まで裁判官。その間家庭裁判所で少年非行事件を扱う。

1989 年名古屋市で弁護士開業。少年事件の弁護、教育裁判のほか不登校、体罰、いじめ、子どもの虐待など子どもの人権問題の相談・弁護活動、医療の分野での患者の人権・医療過誤事件など。

全国不登校新聞社理事、子どもの虐待防止ネットワークあいち(CAPNA)、医療事故情報センター常任理事、南山大学大学院(法務研究科)教授。

共著書：

『長田塾裁判で問われていること』(2007 年芹沢俊介編「引きこもり狩り」1680 円)
当日、会場で入手できます。

* この講演は、香川県内のひきこもり者の家族会である「オリーブの会」の 3 月例会の一環として開かれるもので、講演の後、16 時 30 分までの会員同士の情報交換や交流の話し合いにも参加できます。

お問い合わせ先：

KHJ 香川県「オリーブの会」 電話・FAX：087-843-9877 (川井)

